

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	福祉学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	4校舎502
担 当 教 員	岡井 豪	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>薬と高齢者は切っても切れない関係にある。このことから、高齢者は、医療と福祉から切り離すことができないと考えることができる。故に、高齢者を中心とした医療・福祉の制度を存知する。また、高齢者だけではなく、薬を必要とする障がいを抱えた方にもスポットを当てる。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>学生便覧の11、試験規定(成績評価基準)と準拠する。再掲すると成績評価方法は、期末試験(7割)・出席状況(2割)・授業態度(1割)という基準である。</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>配布テキスト:なし レジュメを用意する。参考図書については、授業時に随時伝える。</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>復習を必ずするように心がけること。また、福祉に関するニュースを耳にする、新聞を読むということを中心掛けてほしい。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>数少ない授業構成となっているため、欠席しないよう、体調管理に留意してほしい。また、福祉は、学生自身の生活や家族の生活に直結することが多いため、イメージしながら講義を受けてほしい。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	授業の進め方を理解し、それを受け止め、今後の授業参加に留意することがわかる。障がい者・障がい児の実態を理解することができる。	レジュメ		関連する書物やニュースを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	本講義における、オリエンテーションを行う。 障がい者・障がい児に関する講義を行う。①			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者・障がい児の生活がイメージでき、生活のしづらさがわかる。	レジュメ		障がい者・障がい児に関するニュースを読んでおく。 第1回目の授業の復習をする。
		各コマにおける授業予定	障がい者・障がい児に関する講義を行う。②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会保障の基礎がわかる。	レジュメ・資料		第2回目の授業の復習をする
		各コマにおける授業予定	社会保障に関する講義を行う。①			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会保障が自分の生活に直結していることを理解できる。	レジュメ		第3回目の授業を復習し、 理解したことをまとめる。
		各コマにおける授業予定	社会保障に関する講義を行う。②			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護保険の基本がわかる。	レジュメ・資料		介護保険について調べる
		各コマにおける授業予定	介護保険に関する講義を行う。①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護保険の制度が理解でき、説明できるようになる。	レジュメ	第5回の授業を復習し、理解したことをまとめる
		各コマにおける授業予定	介護保険に関する講義を行う。②		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域包括ケアがイメージできるようになる。	レジュメ・資料	地域包括ケアを調べる
		各コマにおける授業予定	地域包括ケアに関する講義を行う。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	第1回目授業～第7回目授業までの内容を理解し、説明できるようになる	配布したレジュメ・資料	わからない点を見つけておく
		各コマにおける授業予定	第1回目授業～第7回目授業のまとめ及び復習		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			